

関連資料

柳生エリアの魅力について

奈良市観光経済部観光戦略課

関連資料

● 柳生エリアの魅力について

Point 1 コンパクトな観光地と季節ごとの魅力

・柳生は奈良市の東部山間に位置し、奈良市中心街よりバスで約45分の場所。

・一箇所に複数の観光地が集中しており、徒歩で巡ることができる。

・山あいにたたずむ柳生の里では桜、花しょうぶ、紅葉など四季折々の風景が広がり、貴重な日本の原風景が残されている。ノスタルジックな雰囲気を感じながら散策ができる。



柳生の位置(近鉄奈良駅からバス45分)



関連資料

● 柳生エリアの魅力について

Point 2 ストーリー性のある観光地

・柳生一族と深い関わりを持つ観光資源が豊富にあり、歴史ファンやアニメなどのサブカルチャーの愛好家を惹き付けるストーリー性のある観光地としての魅力がある。

柳生家

【柳生家ゆかりの地】

柳生の剣を求め、**宮本武蔵**をはじめとした剣豪が行き交った歴史がある地。柳生家ゆかりの歴史遺産が数多く残っている。



歴史ファン

作家**山岡荘八氏**が実際に居住した旧柳生藩家老屋敷には山岡荘八氏と大河ドラマ「春の坂道」の資料が展示されており、訪れる歴史ファンにとって、その想像を膨らませ、歴史の息遣いを感じられる場所となっている。



山中に残る神話、伝説、妖怪

・山中に突如として現れる神秘的な巨岩にまつわるストーリー。

・天乃石立（あまのいわたて）神社は本殿を持たず四つの巨石が御神体として崇められている。手力雄命（たぢからのおのみこと）が、天岩戸の扉を引き開けた時に、力余って、ここまで飛んで来た岩戸の扉であるという伝承が残されている。



・天乃石立神社の奥にある一刀石は**柳生新陰流**を創始した柳生石舟斎が天狗と試合をし、一刀のもとに切り捨てたところ、石が割れて残っていたという伝承が残されている。

アニメ

・アニメを中心としたサブカルチャーファンや**コスプレイヤー**にとっては、ストーリー性のある柳生の歴史遺産それぞれが持つ「本物」の魅力に引き寄せられ、撮影地としての人気が高く、柳生観光協会は積極的に受け入れをしている。



写真提供：柳生観光協会

関連資料

● 柳生エリアの魅力について

Point 3 武道の聖地としての魅力

柳生新陰流のブランド価値

・柳生新陰流は、江戸時代**徳川将軍家の剣術指南役**であった柳生家の流派であることが、柳生のブランド価値を高めており、海外からの認知度も高い。剣と兵法と禅について書かれた柳生家が残した「兵法家伝書」は同世代の剣豪・宮本武蔵の著した「五輪書」と共に、近世武道書の二大巨峰といわれ、英訳もされている。

柳生新陰流の教え

・柳生新陰流は、戦国の世にあって、人を生かす平和の剣として、柳生石舟斎が生み出した流派。その教えは、自分に打ち勝つ心の修養の大切さを説いており、現在を生きる私たちに通じるものがある。

海外を惹きつける武道と禅

・柳生新陰流の精神に通じる剣道と座禅の道場（正木坂剣禅道場）が柳生の地にあり、ヨーロッパから10日～20日間、道場を貸し切って宿泊し、趣味や武術を楽しまれる方が柳生に来ていた。コロナの影響で一時的にその流れが止まったものの、現在はインバウンドの回復とともに戻ってきている。

・禅（Zen）は英語として定着しており、cool（カッコいい）の意味で用いられたりすることもある。アップルの創業者スティーブ・ジョブズ氏に代表されるように、海外の富裕層は資産的な豊かさだけでなく精神的な豊かさを求めて禅をするといわれており、柳生の地がもつ禅の精神は海外を惹きつける魅力を備えている。



関連資料

● 柳生エリアについて

奈良市内の東部山間に位置する柳生の里。

江戸時代将軍家剣術指南役として権勢を振るった柳生家繁栄の地。柳生宗矩、柳生十兵衛などが有名。

1971年(昭和46年)に放送された柳生宗矩を主人公とする大河ドラマ「春の坂道」の舞台として観光客が大いに訪れた。

Spot 1 一刀石

・柳生石舟斎が修行中にこの戸岩谷にわけ入り天狗と試合をした際、一刀のもとに切り捨てたはずが、刀はその場にあった巨石を2つに割っていたもので、これを後世「一刀石」と呼ぶようになったと伝えられている。

・現在は、アニメをきっかけに、国内外からアニメ・コスプレなどのサブカルチャーのファンが訪れる。



Spot 2 正木坂剣禅道場

・柳生新陰流の精神に通じる剣道と座禅の道場。昭和40年当時、芳徳寺の住職の尽力で建立。

・もとは、興福寺別当一条院にあった奈良地方裁判所の建物を移築し、正面入口は京都所司代の玄関口を移設している。

・剣道の中堅指導者講習が第3回～38回まで開催された。

・現在、一般公開はされておらず、利用は限られているが、剣道会場、合宿利用、コスプレ撮影会場等として使用されている。



Spot 3 旧柳生藩陣屋跡

・柳生藩主の居所跡で昭和55年6月に史跡公園として整備。奈良市の所有施設。

・毎年4月に行われる「さくら祭」の会場となっており、桜の木が咲き誇る。



Spot 4 芳徳寺

柳生家の菩提寺で1638年に創建。裏山には柳生家の一族の墓所がある。



Spot 5 柳生街道

・柳生街道は、春日山と高円山の谷あいの道を通り、奈良市街地から柳生へと通じる古道。

・沿道に誓多林（せたりん）、忍辱山（にんにくせん）など、インドの聖地に見立てた仏教由来の地名が今でも残っていることから、奈良・平安時代には既に山岳仏教の道場となっていたと考えられている。

・今から約300年前に柳生新陰流が興されて以来、「柳生の剣」を求める武士が柳生街道を通って柳生の里へと足を運んだと言われている。

